

行政事例No.(2)－32

【失敗事例】

事例項目	(仮称)門真市自治基本条例を考える市民検討委員会にかかる議事録作成の遅延について	
事例発生日等	平成23(2011)年6月	
担当課	企画課	
事例概要	発生までの経過	<p>平成22(2010)年9月より、月1・2回の頻度で(仮称)門真市自治基本条例を考える市民検討委員会を開催している。委員会として、「会議を公開し会議要録を公開する」と決定した。しかし、業務多忙により、まずは概要版の作成にとどめてしまった。その後、概要版では議事の詳細が分からず、議事録とは認められないとの指摘があったため、全会議分の詳細な議事内容を記した議事録を作成し、市ホームページに掲載した。</p> <p>【平成23(2011)年6月24日】</p> <p>門真市議会平成23年第2回定例会での一般質問において、議員より指摘があり、総合政策部長は「議事録作成等の本市の原則をおろそかにし、概要版の公表のみで本来の議事録の作成と公表が遅れたことは深く反省いたしております」と謝罪の答弁をした。【資料(2)－32－1】</p>
	当時の対応	概要版を会議後おおむね1週間で市ホームページに掲載した。
発生原因	議事録作成期間に対する認識が低く、概要版の作成は行ったものの、業務が多忙であり、会議録の作成が遅延したため。	
再発防止対策	議事録作成ソフトを導入し、全庁的に会議録作成の効率化を図る。	
添付資料	【資料(2)－32－1】…門真市議会平成23年第2回定例会議事録抜粋	